

北海道新幹線についての考察

札幌延伸が地域に与える影響と課題

2012年12月8日

札幌大学 武者ゼミ
寺田雄真 穴田佑輔 菅野涼太
佐藤桜子 庄司朱里 村尾悠多
本川和也 米沢亮二

1.はじめに

- (1)北海道新幹線とは？
- (2)分析の背景

2.北海道新幹線の概要

- (1)経路
- (2)新幹線のメリット
- (3)予想できる経済効果

3.問題点

- (1) 並行在来線
- (2) 財源問題
- (3) 利用者数

4.提言

- (1) トレイン・オン・トレインシステム
- (2) 財源
- (3) 利用者数増加のために
- (4) 建設費増加分再試算
(2010年時点)

5.終わりに

6.今後の課題

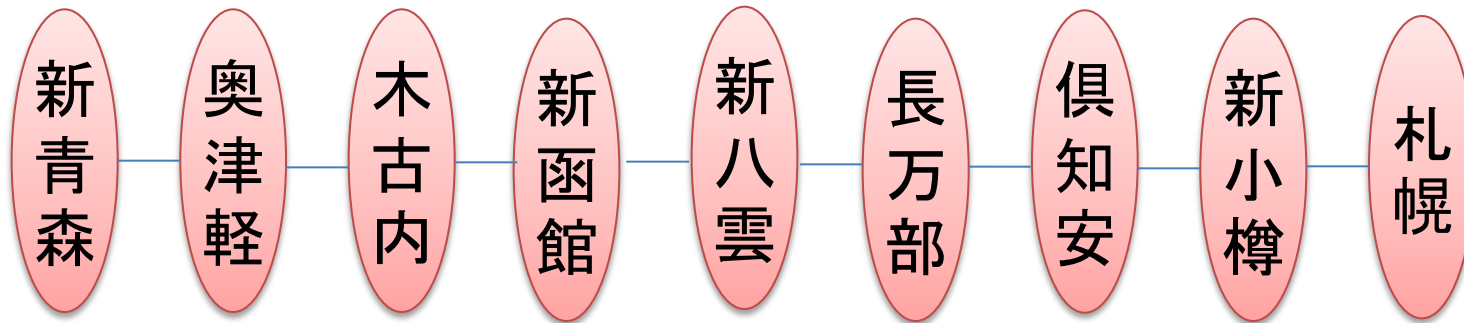
(1)北海道新幹線とは？

北海道新幹線とは、新青森駅から札幌駅までを結ぶ高速鉄道路線のことである。現在、新青森駅～新函館(仮称)駅間が着工され、2015年度に開業予定。2012年6月には、札幌延伸の工事実施計画が認可され、2035年度の開業を目指している。

(2)分析の背景

- ◆ 新幹線の札幌延伸は北海道民の生活に大きな影響を与える。
- ◆ 新幹線の開通により観光客が増加し、地域経済が活性化する。
- ◆ 移動時間の短縮により経済圏が広がり、新たな地域との連携が生まれる。

(1)経路



※札幌まで開業した場合の所要時間

区間	所要時間
東京～札幌	3時間57分
盛岡～札幌	1時間57分
青森～札幌	1時間19分
札幌～新函館	45分

(2)新幹線のメリット

雪に強く、運休や事故も少ない。
航空機よりも安定した輸送が可能

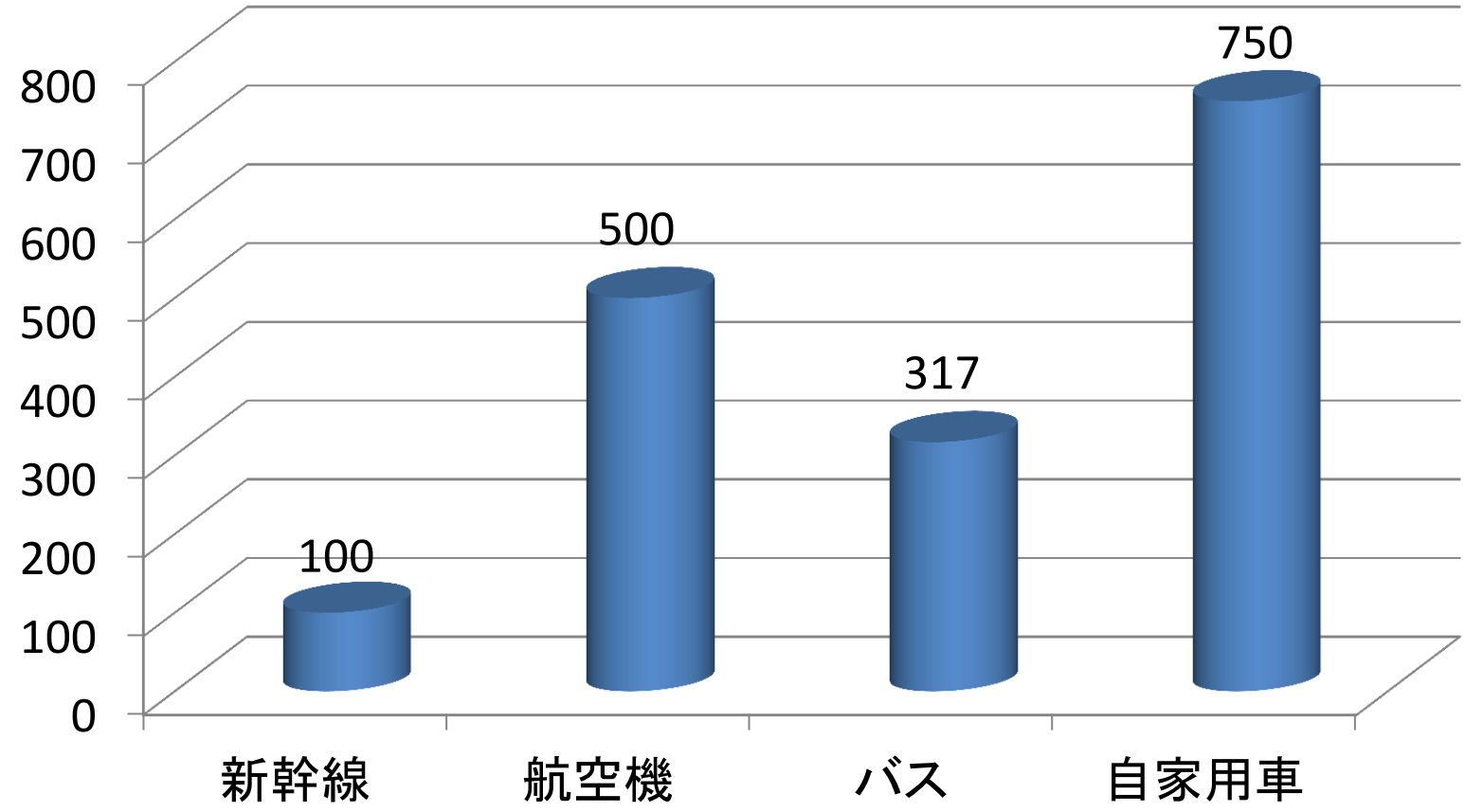
東京～札幌間の開通により飛行機が減便され、
その分の発着枠を他の地域に回すことができる

環境に優しい。CO2排出量が自動車や
航空機と比べ格段に少ない。

短時間で北海道～東北地方へのアクセスが
可能。収容人数も航空機より多い。

1人を1km運ぶのに排出するCO2

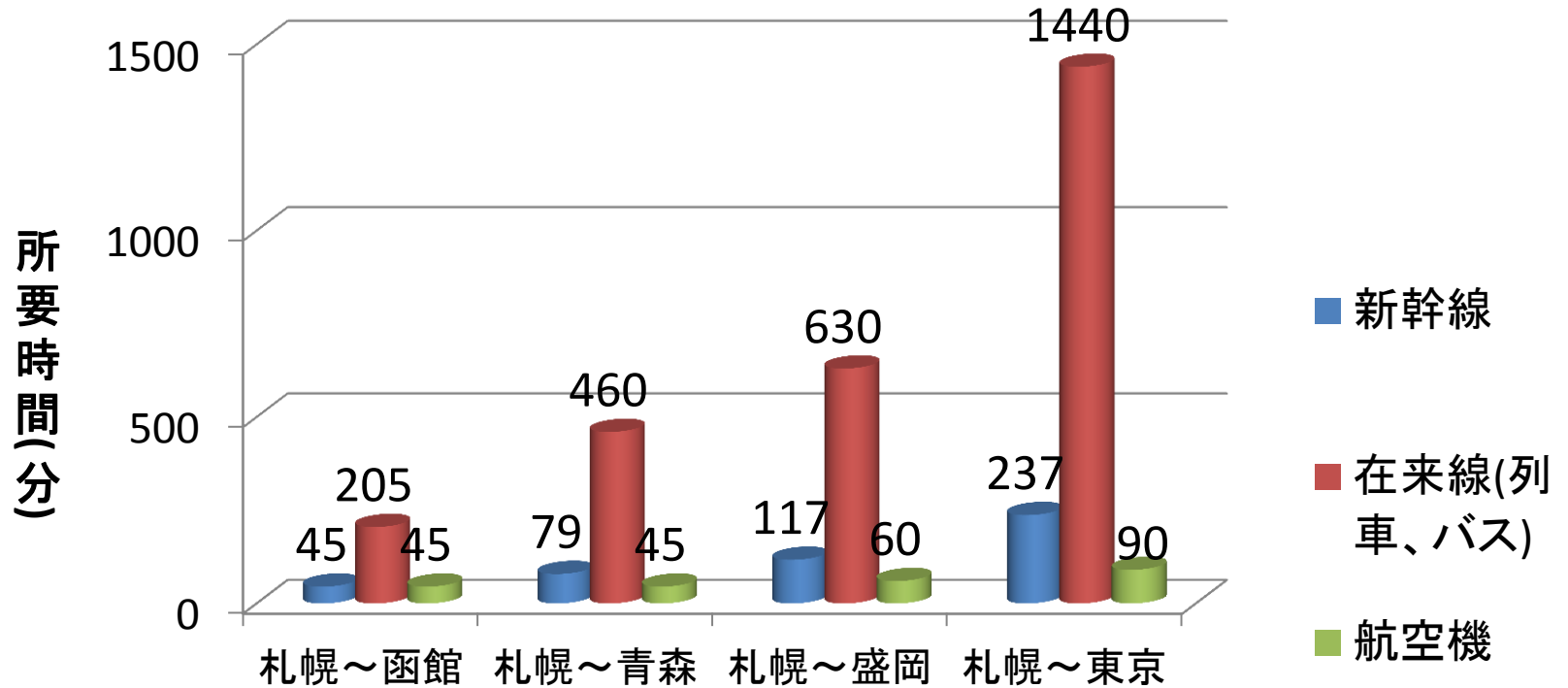
(g-co2/人・km)



出典:国土交通省ホームページ

2.北海道新幹線の概要

移動時間の比較



出典:JR北海道旅客鉄道株式会社、AIR DO 時刻表

(3)新幹線開通により予想できる経済効果(先行研究)

経済効果は大きく2点に分けられる。

北海道内だけで...

1. 新幹線建設中の効果

経済波及効果	約2兆5千億円
就業機会の増加	約18万人

2. 開業後の効果

経済波及効果	年間約1400億円
就業機会	年間約1万2千人

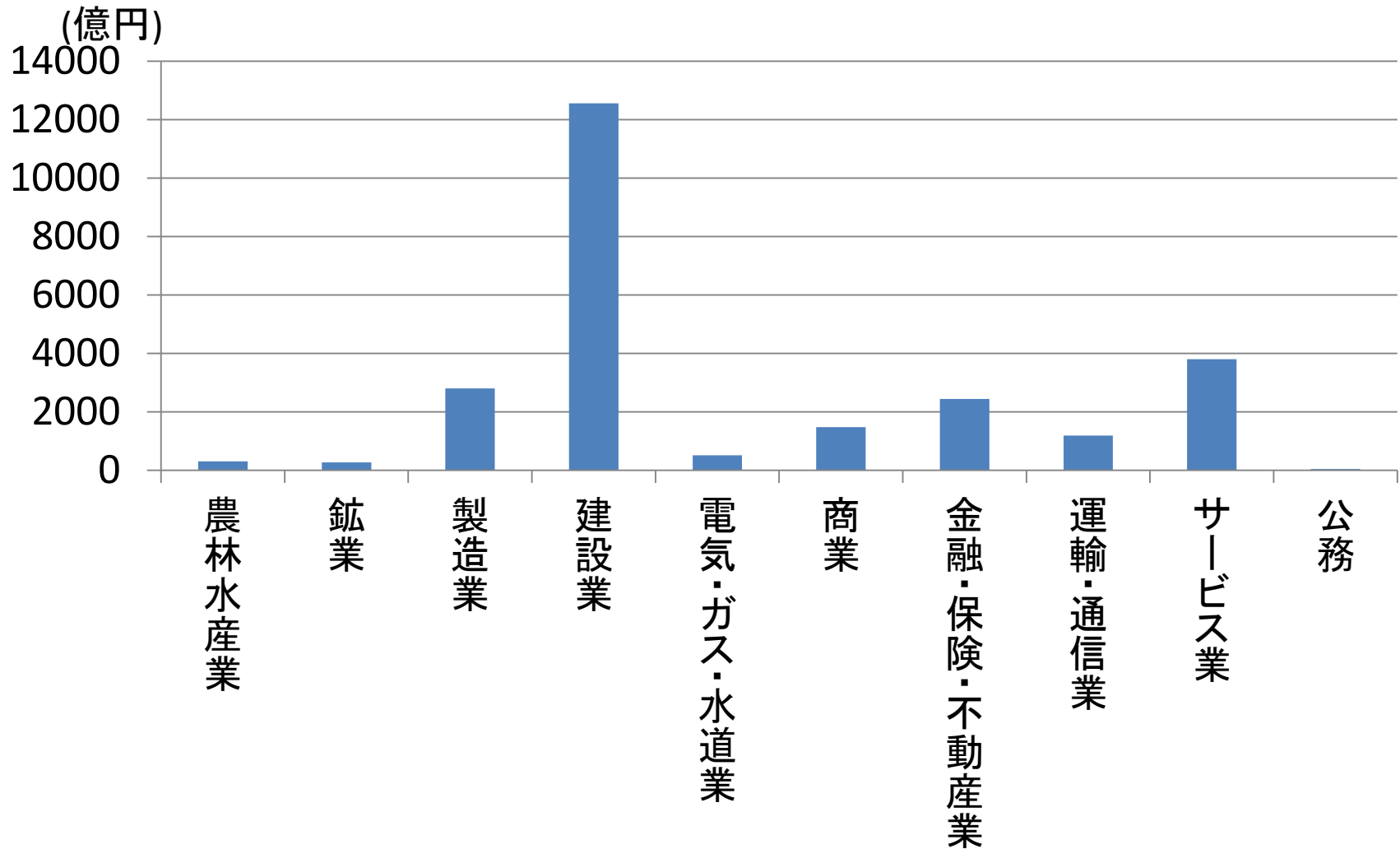
その他、固定資産税、法人・個人の所得に関数する税収の増加
北海道と東北6県の交流が活発になることで、
新たな経済圏の誕生や相乗効果も期待できる

2.北海道新幹線の概要

		北海道	東北	全国計
実質建設費	億円	12370	2100	14470
A.最終需要費 (=実質建設費)	億円	12370	2100	14470
B.生産誘発 (1次+2次波及)	億円	25436	3851	29287
乗数	B/A	2.06	1.83	2.02
C.付加価値額	億円	9864	1531	11394

出典：北海道経済連合会(2006年)

産業別の生産誘発額(建設開始～開業までの総額)



出典:北海道経済連合会(2006年)

問題点

(1)並行在来線

①新幹線と並行予定

- ・札幌～小樽間
- ・木古内～青森間

②経営分離の可能性あり

- ・木古内～五稜郭間
- ・函館～長万部間
- ・長万部～小樽間
- ・函館～札幌間

③廃線の可能性あり

- ・江差～木古内間